燃料及び石油化学製品の高騰等の影響・動向

➢ **中東情勢の緊迫化を踏まえ、道内関係団体及び市町村に対し、価格及び供給量の変動による影響等に関するヒアリング・調査を実施。**（7月13日から7月23日の間で実施）

依然として石油化学製品の一部では、納期の遅れなどが生じているものの、代替品の確保や供給の安定化の動きも見られ始めている。一方で、燃料油や石油化学製品の価格は高止まりが続き、幅広い分野でコスト上昇の影響が及んでおり、資金繰りの悪化などにより事業継続を懸念する声が増えている。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
道民生活	◎LPガスや灯油など石油製品価格の高止まりの状況が続く中、日常生活で使用するほとんどの製品が石油化学製品であり、今後価格への転嫁が進むものと予測され、道民への影響は極めて大きい。 ■冬の電気代が上昇するとの報道もある中、灯油価格も高止まりしており、道民の生活は不安要素に満ちている。特に冬期間の灯油供給不安や価格高騰は命に関わる問題である。
経済団体	◎価格の上昇は落ち着いてきているものの、高止まりの状態。そのため、仕入れコスト増加の一因となっている。供給面で大きな不足は見られないものの、今後の不安定化を懸念。 ■材料費・燃料費上昇分の価格転嫁により節約志向が高まり、景気の減速につながる恐れ。また、コスト増が収益を圧迫することで今後の事業運営への影響を懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
農業	◎飼料・肥料の調達に直ちに影響はないものの、飼料原料は上昇傾向。 ホクレンの令和8肥料年度の化学肥料について、平均で24.7%の値上げ。 ■燃料・生産資材の価格上昇や供給制約による営農活動への影響が懸念。
林業	◎燃料や苗木生産資材などの価格が高止まりしていることに加え、事業活動に必要な油脂類など資材の不足。 ■燃料や資材の価格の高止まりや資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。
漁業	◎漁業用燃料・資材類の価格は高止まり。資材類は在庫不足により一部において納期遅れや納期未定が発生していたが、緩和傾向。 ■燃料や資材、物流費の価格高止まりによる漁業活動等への影響や、漁協や漁業者の経営圧迫を懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
土木工事	◎アスファルトの価格が依然として高止まりしており、一部資材（燃料、シンナー、塗料等）で価格上昇が継続。また、塩ビ管などで供給制限や納期遅延が発生。 ■資材価格の高止まりや供給制限が長期化した場合、経営への影響のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。
民間住宅工事	◎塗料、接着剤、断熱材、塩ビ管、ユニットバスなど多くの建設資材・住宅設備で依然として納期の遅延は見られるものの、事業者は早期の発注や工期の調整などにより対応。資材不足から工事依頼の受け控えなども見られる。また、資材の値上げによる増額分を顧客に転嫁するのは困難な状況。 ■事業者は、値上げによる収益の圧迫や資金繰りの悪化を懸念しており、倒産の不安もあり。
建築工事	◎塗料、接着剤、配管材や電線ケーブルの被覆材料など多くの石油化学製品類で価格高騰が続き、出荷制限や品不足が継続しているものの、一部製品では供給が回復しつつあるものも見られる。 ■資材の納期遅延や価格高騰の状況が長期化した場合、企業収益圧迫のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。
食料品製造	◎包装資材は、一時期は在庫がなくなる不安も感じていたが、今は供給不安は感じていない。しかし、価格は高騰している。 ■原価が上昇したからといってすぐに値上げすると、消費者が離れ、販売数が減ってかえって売り上げが落ちてしまうので、これまでの様々な経験を踏まえて、値上げのタイミングを見極めている。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
木材・木製品製造	◎燃料や梱包資材などの価格が高止まりしていることに加え、製品の生産に必要な油脂類や接着剤など資材の不足。 ■燃料や資材の価格の高止まりや資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。
印刷関連	◎用紙・インキ・版材等、各メーカーから15～20%以上の価格改定が通知されているが、現状で供給は不足していない。 ■顧客に対する価格転嫁に理解を求めることが困難であると予測される。
医療機器・医薬品製造	◎医薬品容器、ビニール袋や緩衝剤など一部の衛生材料、包装資材等が供給制限や中止で入手困難となってきており、代替品で対応しているものもある。 ■今後更なる値上げや出荷停止が予測される。
樹脂加工	◎原材料（樹脂ペレット、エチレン）・資材・石油製品の価格が高騰している。特に、シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が、品薄、価格高騰している。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
鉄鋼	◎特に、鉄の圧延や切削加工で使用する機械の油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
金属加工	◎特に、金属成型後の浸炭焼入れの工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
機械加工	◎特に、加工機械の潤滑油などが高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
自動車部品製造業	◎特に、製造機械の潤滑油や切削油のほか、製造工程にある浸炭焼入れ（鋼材強化のための熱処理）の工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
エネルギー関係	◎原油等の価格が上昇基調であることから、9月分電気料金（8月使用分）は単価上昇分が国による支援金増額分を上回り前月より上昇。9月分ガス料金（8月使用分）は国による支援金単価の増額により前月より下降。供給面では大きな影響はない。 ■電気・ガス料金は、国による支援が実施される期間において、料金負担が一定程度軽減される見込み。供給面への影響については、引き続き状況を注視。
運輸	◎価格は高止まりのまま、一部事業者で自社燃料貯蔵施設への配送を断られる状況は継続。エンジンオイル、尿素水や梱包資材等の石油関連製品は価格が上昇しており、一部受注停止や供給停止を受けるなど品不足の状況は依然として厳しい。 ■価格上昇による経営悪化や供給停止による運行停止など、道民はもとより、観光客なども利用するバスやタクシー、物流を担うトラックなどの運行が困難となる恐れ。車両整備に関する資材の価格上昇、供給不足が出ており、安全管理等に不安。
飲食料品卸売・小売	◎状況に特段の変更はない。同じような状況が続いている。包装資材値上げによる納品価格値上げの連絡も続いている。 ■小売業の包装材料の値上げの影響や供給不安が、今後出てくることが予想され、商品価格の上昇に伴う、消費者の買い控えを懸念している状況に変わりはない。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
宿泊	◎電気・重油・LPガス等のエネルギーコストに加え、リネン類やアメニティ等の値上げも継続しており、コスト全体が高止まり。また、各種資材の注文から納品までのリードタイムの長期化が引き続き見られる。 ■航空運賃の高止まりや物価高騰による道内客含む全体の客数の減少、修繕用資材の高騰や納期への影響を懸念。また、全体的なコストの上昇による経営への影響も懸念される。
医療	◎軟膏壺や分包紙など衛生材料について、一部メーカーで供給制限や停止が発生しており、代替品で対応しているものもある。 ■衛生材料や麻酔薬等の医薬品の欠品、流通停止により、今後の医療提供体制に影響が出てくる恐れ。
金融	◎原油価格高騰に伴う運転資金の相談は、引き続き多く寄せられている状況。 ■長期化するようであれば、今後も相談が多く寄せられることを想定。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
市町村	◎7割を超える市町村で、燃料の契約単価の改定や入札不落、業者から供給制限の可能性の打診、供給日の遅れ等が発生。また、建築資材や医療・介護資材、指定ゴミ袋等の調達にも影響あり。前回調査（6/23時点）に比べ、影響ありと回答した市町村が微増。 ■9割を超える市町村で、価格上昇に伴う予算不足や入札不落、供給の不安定化に伴う事業の遅延や公共施設等の維持管理への影響を懸念。
北海道	◎燃料単価契約における契約変更件数の伸びは鈍化。引き続き、医療用資機材や一次産業資機材など、幅広い品目で調達価格が上昇。 ■影響の長期化に伴い、今後の調達価格の上昇に伴う財政負担の増加や、供給不足に伴う事業の遅延等への影響を懸念。